

1 基本情報

施設名称	大阪市立住吉区民センター
施設所管課・担当	住吉区役所総務課（担当：向井、中塚）
条例上の設置目的	コミュニティ活動の振興並びに地域における文化の向上及び福祉の増進を図るとともに、市民の集会その他各種行事の場を提供することにより市民相互の交流を促進し、もって連帯感あふれるまちづくりの推進に寄与することを目的とする。
業務の概要	1.貸館運営業務 2.徴収事務委託契約に基づく収納事務 3.施設総合管理業務
成果指標	施設利用率利用者満足度
数値目標	12,000人以上 ／ 80%以上
指定管理者名	大阪市コミュニティ協会
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	施設利用率	利用者満足度
数値目標	72.59%	86.00%
年度実績	60.55%	96.00%
達成率	83.4%	111.6%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	273,752	275,494	-1,742
稼働率	60.6%	55.9%	4.7%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	35,742,972	36,853,336	4,161,972	光熱費の高騰等により経費補填を行ったため。
	計画	31,581,000	31,581,000		
利用料金収入	実績	20,414,290	19,104,857	825,290	
	計画	19,589,000	19,462,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	15,331,640	12,071,890	2,280,640	従来までのポスティングに加え、SNS等での営業活動を行ったことにより、利用者が増加したため。 【当年度実績内訳】 自主事業：6,522,100 舞台人件費等：8,673,100 選挙時間外収入等：136,440
	計画	13,051,000	5,787,500		
合計	実績	71,488,902	68,030,083	7,267,902	※なお、舞台人件費をその他収入に含んでいるため、前年度と差異あり
	計画	64,221,000	56,830,500		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	25,856,093	24,632,086	858,800	最低賃金の上昇及び自主事業参加者の増加に対応するためのスタッフを増員したため。
	計画	24,997,293	23,964,354		
物件費	実績	29,305,172	31,155,503	3,277,242	光熱費の高騰が主な要因。 節電等、コスト削減のための努力を行っていたが、夏場に空調が故障したことや、施設の老朽化による修繕費の増加等が重なったため。
	計画	26,027,930	25,861,695		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	15,353,754	13,145,551	1,593,487	自主事業参加者の増加に伴う増。 【当年度実績内訳】 自主事業：3,493,343 舞台人件費等：8,312,784 その他支出等：3,547,627
	計画	13,760,267	6,673,151		
合計	実績	70,515,019	68,933,140	5,729,529	※なお、舞台人件費をその他事業費に含んでいるため、前年度と差異あり
	計画	64,785,490	56,499,200		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
施設利用率	83.4%	C	数値目標を達成することはできなかったが、新規自主事業の立ち上げ等を行い新規顧客獲得に向けた施策を適切に実施したことは評価できる。 また、利用率が低いアトリエ工作室等の特別室を、会議室として利用するなどの提案も行い、施設の利用率向上を図ろうとしている。
利用者満足度	111.6%	A	空調設備が経年劣化により故障するなど、施設老朽化の影響が各所にみられる中、利用者への影響を最小限に抑え、高い利用者満足度を果たしたことは評価できる。

（2）市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
昨年度に引き続き、間引き照明や空調、照明不使用時の電源オフなど適切に経費縮減にかかる取り組みを実施していた。	A	

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	法令・規則にのっとり適切に管理運営が行われた。
事業計画の実施状況	B	事業計画書及び協定書等に基づき適切に実施されていた。 更に附設会館周辺地域への施設情報誌のポスティングや新規自主事業の立上げなど積極的に目標達成に向けた利用率向上対策が講じられていた。
施設の有効利用	A	市民楽団とコンサートを共催、映像専門学校と協同し、卒業制作の撮影・上映会を実施するなど積極的に施設の有効利用に取り組んでいた。またボランティアセンターと共同で交流スペースを運営し、区内の市民活動、ボランティア活動のハブとして機能した。
社会的責任・市の施策との整合性	B	法令等に基づき、標準通り事務が進められていた。

5 利用者ニーズ・満足度等

利用者に対して年2回のアンケート調査を実施（総回答者数 202名） 「施設設備」「スタッフの対応」「清掃状況」「総合満足度」等の項目で調査を行い、96%の利用者から満足との回答が得られた。 また、「空いている部屋で自習室を開催してほしい」「利用開始時間まで座って待てる場所を作してほしい」等の利用者からの意見・要望にも適切に対応していた。

6 外部専門家意見

・積極的な自主事業に取り組む、特別室の利用形態を考案するなどは評価できる。 ・区民センターの認知度を向上させる為に、各層に向けた効果的な広報活動を検討・実施されたい ・指定管理者の知見・ノウハウを活用し、稼働率の向上に努められたい。 ・年齢等、ターゲットに応じた発信方法の工夫をすること、又、利用の少ないターゲット層や区の地域資源との連携を活かしたアウトリーチ型の認知、利用率向上も検討すること。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	施設利用率については成果指標を達成することは出来なかったが、委員意見にもあるように利用率の低い特別室の利用形態を工夫していることや、高い利用者満足度を獲得していることは評価できる。
市費の縮減	B+	昨年度に引き続き、間引き照明や空調、照明不使用時の電源オフなど適切に経費縮減にかかる取り組みを実施していた。
管理運営の履行状況	B	法令・規則にのっとり適切に運営が行われていた。 また、各評価項目において適正な管理運営がなされており、施設の有効利用等についても適宜改善を講じていた。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	上記により、令和5年度については、おおむね本市の定める水準どおり効果が得られたと考える。